

平成 28年度 高松市事務事業評価表 (事中・事後評価)

事務事業名	屋島陸上競技場再整備事業		
部 局 名	創造都市推進局	課(室)名	スポーツ振興課
電話番号	087-839-2626		

【事業全体概要】まちづくりの目標：心豊かな人と文化を育むまち

総合計画	政策	心豊かな生涯学習社会の形成		主体	市
	施策	スポーツ・レクリエーションの振興		期間	平成 20年度～平成 28年度
	基本事業	スポーツ・レクリエーション施設の整備		総事業費	7,574,006
重点取組項目	重点取組課題 2		特定財源	国	0
関連根拠法令等	都市計画法(建築基準法)、バリアフリー新法、文化財保護法、自然公園法、高松市スポーツ施設			県	0
事業区分	自治事務	種別	事中・事後	市債	6,646,700
事業種類	起債			他	311,280
				一般	616,026

事業の概要
市民ぐるみのスポーツ振興や、スポーツを通じた健康増進・住民相互の交流等の推進を図るため、本市および東讃地域で唯一の公認陸上競技場で、県からの移管を受けた県立屋島陸上競技場について、現施設の老朽度、施設・設備の整備状況等を踏まえ、基本構想、基本計画に基づき、再整備を行う。また、競技場のオープンをPRするとともに、市民スポーツの振興と本市の魅力を国内外に発信するため、開場を記念して市民マラソンと開場記念イベントを開催する。

【事業の目的と指標】

対象	屋島陸上競技場	対象指標名	整備対象施設数
手段	調査報告書や関係団体等からの意見を基に再整備基本方針を作成。再整備基本構想検討懇談会、パブリック・コメントからの意見等を踏まえ、再整備基本構想を策定。基本構想を基に基本計画を策定。基本計画を基に、基本設計・実施設計の契約。建築審査会等の了解を経て早期の建設着工を目指す。また、市民の意見を聴くため、地元説明会を適時開催する。	活動指標名	各年度における進捗率
意図	再整備に当たり、陸上競技だけでなく多種多様な利用ニーズに対応可能な多目的競技場として、また、地域の人々をはじめとする市民の健康づくりや憩いの場として広く親しまれる施設として整備する。	成果指標名	屋島陸上競技場再整備進捗率
結果	屋島陸上競技場の再整備を図ることで、東讃地区唯一の陸上競技場としての役割を担うほか、サッカーやその他スポーツイベントなど多種多様なニーズに対応できる競技場として本市のスポーツ振興に寄与する。	効率指標名	コスト1,000万円当たりの各年度における進捗率

【指標値および事業費の推移】

指標名	単位	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	目標値	目標年度
対象指標	施設	1	1	1		
活動指標	%	0	80	90		平成 28年度
成果指標	%	0	50	60		平成 28年度
効率指標	%	0	0.9	0.6		
トータルコスト	[千円]	56,039	877,055	1,441,597		
(事業費)	[千円]	48,596	869,674	1,433,920		
(職員人件費)	[千円]	7,443	7,381	7,677		

【環境変化等】

開始時周辺環境(背景)	現状周辺環境	今後周辺環境(予測)	住民意向分析
本市が東部運動公園に計画していた公認陸上競技場の建設を中止したことから、市有地に立地している香川県立屋島陸上競技場を平成 20年度に譲渡された。施設は老朽化が著しく、耐震診断結果においても緊急に改修等の措置を講ずる必要があるとされていることから、高松・東讃地域唯一の陸上競技場として再整備を行う。	平成 28 年春の完成を目指しているため、早期に工事着工すべき状況にある。	再整備後は、陸上競技などの競技スポーツ施設としての利用のほか、市民の健康づくりや憩いの場としての利用、各種イベント・行事の開催等、多目的な利用が可能な施設となる。	地元住民からは、芝生広場やジョギングコース等を設置して、市民が健康づくりや憩いの場として利用できるような施設にしてほしいとの要望がある。

【妥当性評価】

1. 事業の実施主体として市の関与は妥当か A 法令等により市が実施しなければならない 高松・東讃地域唯一の陸上競技場である屋島陸上競技場について再整備とオープニングイベントを行うことは、本市のスポーツ振興を図る観点から必要と認められることから、事業の実施は妥当である。
2. 事業の上位目標である施策に貢献しているか A 貢献度が大きい スポーツおよびレクリエーションの振興を図り、市民の心身の健全な発達に寄与するための施設・イベントとして貢献度が大きい。
3. 成果を上げるため、またコストを削減するため、対象あるいは意図（目指す状態）を拡充・縮小する必要があるか A 必要性はない 再整備基本計画の施設規模は妥当である。
4. 事業を廃止・休止した場合に影響があるか A 影響は大きい 高松市を中心とした東讃地域の小・中学校の陸上競技大会のほか、保育まつり等の多様な活用がされているため、事業を廃止・休止した場合の影響は大きい。
5. 市民協働の実施状況はどうか（どのような市民参画・市民活動との連携等を実施したか） A 事業のプランづくりの段階からNPO、市民団体が参加している 再整備基本構想の策定に当たり、広く市民の意見を反映するため、屋島陸上競技場再整備基本構想検討懇談会を設置した。

【有効性評価】

6. 事業の成果（成果指標値）を向上させる余地はあるか A 向上余地はない 今後整備工事を進めていく中で、地元説明会等を適宜開催し、十分な説明を行うことで、住民や利用者の理解を求めていく。
7. 事業執行上の見直しを行ったか（昨年度何か業務の見直しを行ったか） A 実施済み/実施する必要がなかった 関係部局と（建築課、都市計画課、文化財課）と連携し、課題等に対応している。
8. 成果目標値に対する実績値（達成度）はどうだったか C 概ね達成できた 棒高跳の公認競技が可能な「室内競技場」を全国で初めて併設した。

【効率性評価】

9. 成果を達成するための活動量（活動目標値に対する実績値）はどうだったか B 目標どおり達成できた 再整備に当たっての前提条件が著しく変化したことから、再度、設計の検討に時間を要し、見直しを行った。
10. コスト縮減ができたか B 縮減できた 太陽光発電システムや雨水の散水利用、LED照明等の省エネルギー器具を採用した。

【一次評価】

評価区分	継続																						
整備にあたっての前提条件や状況が変化してきたことから、再度、実施設計を行うなど適切に対応している。																							
	改革案	期待効果																					
内容	改革案なし	障害要因なし 障害要因																					
		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下		
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						

【二次評価】

評価区分	継続
高松・東讃地域唯一陸上競技場であり、陸上競技の練習や大会の主施設として活用されているほか、市内外の交流拠点として、広く市民に親しまれており、本市のスポーツ振興を図る観点から事業の継続実施は適当である。	